

## 医師向け研修会 アンケート結果

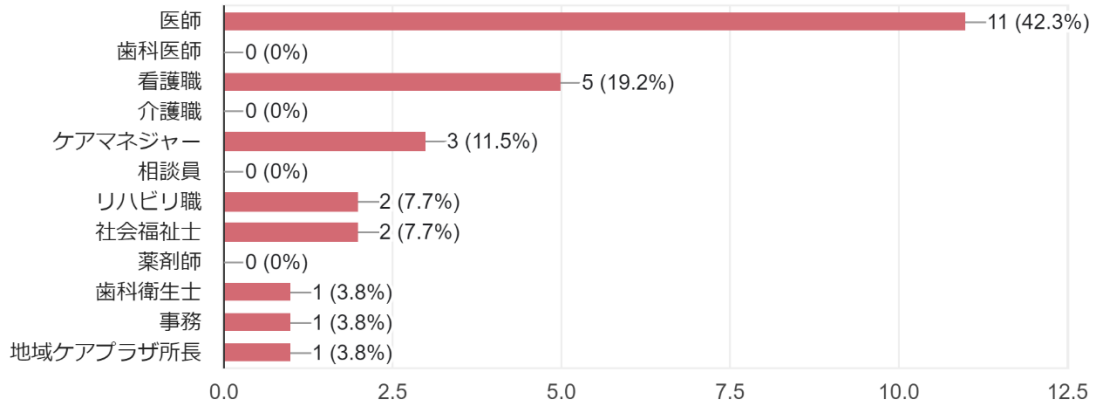
医師向け研修会「青葉区の在宅医療・介護の未来を考える」 日時：令和5年3月7日(火) 19:30~21:00

参加者 医師 10名 看護師 6名 リハ職 6名 包括 3名 ケアマネ 3名 介護職 1名 行政その他 3名

参加者 32名 アンケート回答 26 回答率 81.25%

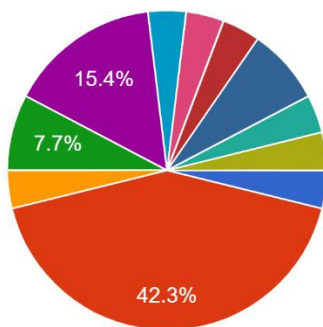
### 1. あなたの職種を教えてください

26件の回答



### 2. あなたの所属先を教えてください

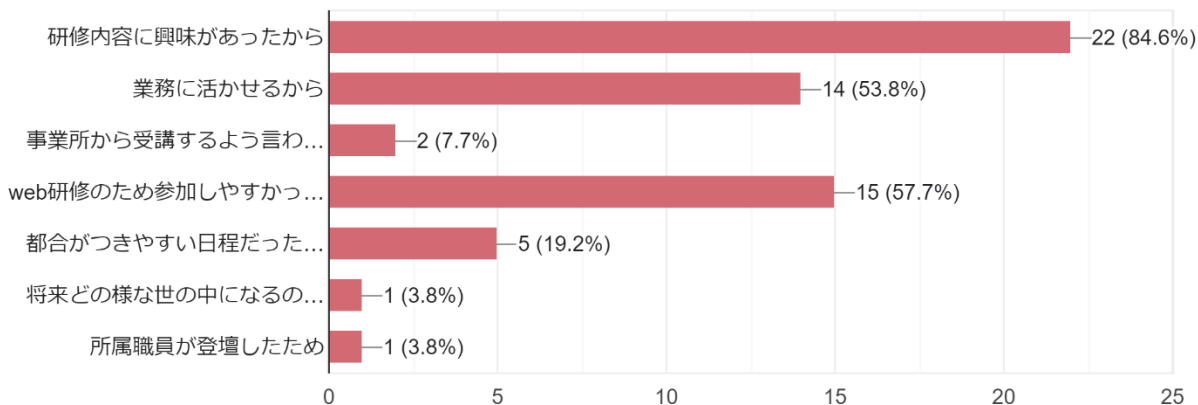
26件の回答



クリニック・診療所 11  
訪問看護ステーション 4  
居宅介護支援事業所 2  
行政 2  
病院 1  
歯科医院 1  
地域包括支援センター 2  
通所サービス 1  
訪問介護ステーション"1施設" 1

### 3. 今回研修に参加した理由を教えてください（複数回答可）

26件の回答



4. 第1部 【青葉区在宅医療の現状と今後の予測】はいかがでしたか？ご意見・ご感想をお聞かせください。  
(代表的なご意見)

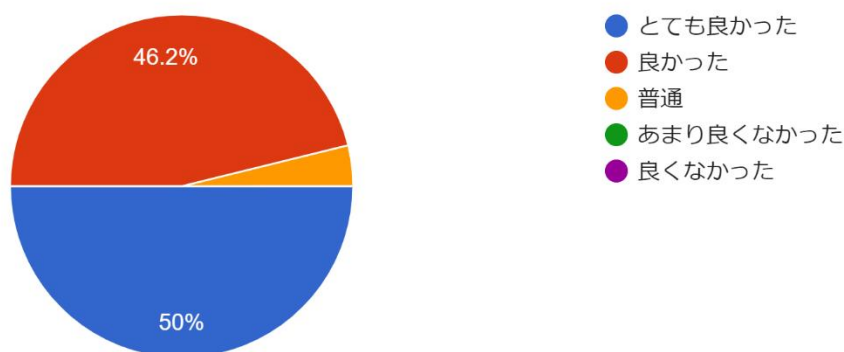
- ・ 青葉区の実態、将来像がデータから把握できた。課題に対する提案もあり、分かりやすかった。21件
- ・ 地域の課題が多いことが分かった。危機感を感じた。5件
- ・ 其他のご意見 勉強になった。区民へ医療からも近づくという点が印象に残った。など

5. 第2部 ディスカッションはいかがでしたか？ご意見・ご感想をお聞かせください。  
(代表的なご意見)

- ・ 様々分野からの現状が聞けた。16件
- ・ 其他のご意見  
課題が分かった。今後についてもディスカッションしてほしかった。  
診療の参考になった。一人ひとりの時間がもっと長いと良かった。  
分かりやすかった。ケアマネ不足が深刻。関係作りができると良い。話しに引き込まれた。

6. 研修全体を通して内容はどうでしたか？

26件の回答



7. 理由を教えてください

(代表的なご意見)

- ・ 訪問診療、かかりつけ医の役割が理解できた。3件
- ・ 多職種の本音や活きた経験や想いが聞けた。2件
- ・ 青葉区の現状、サービスの現状、医療現場の現状、国の方針を知ることが出来た。
- ・ 講演とディスカッションが、うまく関連していた。
- ・ 具体的な解決策を、今後展開する必要性を感じた。

8. 今後に活かせるような内容はありましたか。あればご記入ください。

(代表的なご意見)

- ・ 患者さん・ご家族へのかかわり方、医師からの声のかけ方など。
- ・ 少ない人材で超高齢化社会を支えなければならないこと実感。離職させない働きやすい職場環境を整えたい。
- ・ 多職種の連携の大切さ。高齢者を支えていく同志として多職種との協力。MCSなどの活用。
- ・ 貴重な青葉区のデータや医療機関の見解や状況を、今後活かしたい。
- ・ 患者さんが訪問診療を希望した際、かかりつけ医に訪問診療してもらえないか、聞いてもらう。

9. 地域の医療・介護において、課題だと思われることがありましたら、ご意見をお聞かせください。

(代表的なご意見)

- ・ 連携・情報共有・夜間対応のバックアップ
- ・ 働く力や意思はあっても、参加の意思表示が難しい。
- ・ 「区民との対話」という意見が出てましたが、同感です。
- ・ 元気な60歳以上での支えあい。
- ・ 健康的かつ長期的にいかに働ける環境をどの職種でも保てること。
- ・ 青葉区に訪問診療専門の医療機関がもう少し増える事が必要。
- ・ 現状の課題である人材不足をどのように乗り切るのか？皆様のご意見を伺いたい。

10. 研修全体を通じてご意見・ご感想などありましたらご記入をお願いします。

(代表的なご意見)

- ・ ウェビナーのため参加しやすかったです。会場参加とウェブ参加の2つの選択肢があると良い。
- ・ もう少し早めのスタートでもよかった。もう少しコンパクトに御願います。
- ・ ディスカッションはざっくばらんな意見を聞くことができた。ディスカッションがとてもわかりやすかった
- ・ 多職種で連携することで医師が負担なく取り組めるような具体的な事例が共有できると良いと思いました。
- ・ 高齢になると新しい事への理解が難しい。早くから今の状態を知ってもらう必要あり
- ・ 在宅医療を行っていなくても、多職種連携による患者情報把握の手段としてMCSを利用することは可能なのでしょうか。
- ・ 今後もこの様な企画をやってほしい。
- ・ 青葉区の現状や今後を知る機会になった。色々考えるきっかけになった。